

# 医療費分析結果報告書（概要）

- 令和3年度 -

## 【1 被保険者の状況】

○被保険者数（年度平均）は401,881人であり、前年度に比べて0.53%減少したが、組合員数は前年度に引き続き増加し、増加率は0.68%である。家族数は△2.00%と依然として減少が続いている。（1頁表-1）

組合健保は、前年度から被保険者数が△0.13%、被扶養者数が△2.35%である。

○被保険者の年齢階級別割合では、50歳代が20.29%と最も高い。（2頁表-2）

組合健保と比較すると、15～24歳、50歳以降の年代で全国土木が高くなっている。

○平均年齢は、37.7歳（組合員45.8歳、家族29.8歳）である。

（2頁表-3）

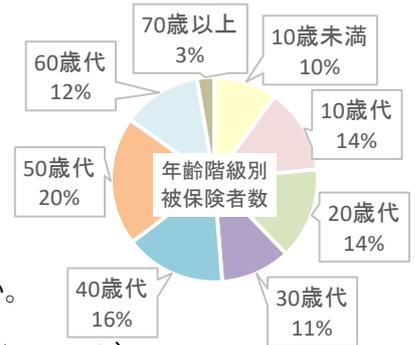
組合健保の平均年齢は35.7歳であり、全国土木が2.0歳高い。

○前期高齢者は30,103人であり、前年度に比べて1.94%増加し、加入率は7.49%となっている。（4頁表-4）

組合健保の加入率は3.54%であり、全国土木が3.95ポイント高い。

○扶養率は1.03人で、前年度に比べて2.66%減少している。（5頁表-5、6）

組合健保の扶養率は0.73人であるが、組合健保より扶養率が高い理由は、①組合員の男性割合が84.8%と高いため、②組合員と同一世帯であれば収入の多寡にかかわらず家族被保険者となるためと推察される。



## 【2 医療費の状況】

○総医療費は約774億円であり、前年度に比べて8.37%増加している。診療区分別の内訳は、医科入院外が41.74%と最多であり、組合員・家族別にみると、組合員（51.14%）が家族（48.86%）より2.28ポイント高い。（7頁表-7、8頁表-8 図-10）

特に「呼吸器系の疾患」に係る医療費の増加が大きく、前年度に比べて11.6億円（34.8%）増加している。（59頁）

○1人当たり医療費は、前年度に比べて8.94%増加している。診療区分別に前年度と比較すると次表のとおりである。（9頁表-9、12頁表-11）

区分	1人当たり医療費合計	医科入院	医科入院外	歯科	調剤	(医科入院外+調剤)
令和3年度	192,607円	51,743円	79,554円	22,093円	38,438円	117,991円
令和2年度	176,794円	47,622円	71,035円	20,923円	36,472円	107,506円
増減額	15,813円	4,121円	8,519円	1,170円	1,966円	10,485円
増減率	8.94%	8.65%	11.99%	5.59%	5.39%	9.75%

※合計には訪問看護療養費を含む。

○令和2年度の1人当たり医療費では、組合健保との差が22,823円（14.82%）あるが、本人割合、男女割合、年齢構成の影響を取り除くと、その差は△200円（△0.13%）となる。（10頁表-10）  
その他の指標についても、構成要素を揃えると組合健保と概ね同水準となる。（13頁表-12）

※比較対象とする組合健保資料の公表時期の関係から令和2年度で比較した。

1人当たり医療費			本人割合、男女割合、年齢構成を揃えた1人当たり医療費		
全国土木	組合健保	差(率)	全国土木	組合健保	差(率)
176,794円	153,971円	22,823円(14.82%)	153,771円	153,971円	△200円(△0.13%)

### 【3 疾病の状況】

○疾病分類別に医療費（歯科の疾患を除く）を金額順にみると、入院では組合員、家族ともに「循環器系の疾患」（組合員 25.5 億円、家族 14.2 億円）が最も高い。入院外では組合員は「内分泌、栄養及び代謝疾患」（23.6 億円）、家族は「呼吸器系の疾患」（23.2 億円）が最も高い。（48 頁表-45 ～ 51 頁表-48）

各区分で金額が最も高い年齢階級と疾病分類は次のとおりである。

区 分	入 院			入 院 外		
	年齢階級	疾病分類	金 額	年齢階級	疾病分類	金 額
組合員	60 歳～64 歳	循環器系の疾患	5.5 億円	50 歳～54 歳	内分泌、栄養及び代謝疾患	4.8 億円
家 族	0 歳～4 歳	周産期に発生した病態	6.0 億円	0 歳～4 歳	呼吸器系の疾患	8.0 億円

○令和 2 年度の疾病分類別 1 人当たり医療費は、①循環器系の疾患（14,175 円）、②新生物（13,585 円）、③内分泌、栄養及び代謝疾患（13,168 円）の順に高い。（52 頁表-49 ～ 54 頁表-51）  
組合健保との差が最も大きい疾患について、年齢構成の影響を除くと次のとおりである。

区 分	疾病分類	1 人当たり医療費			年齢構成を揃えた 1 人当たり医療費		
		全国土木	組合健保	差（率）	全国土木	組合健保	差（率）
入 院	内分泌、栄養及び代謝疾患	3,914 円	706 円	3,208 円 (454.7%)	3,014 円	706 円	2,308 円 (327.2%)
入院外	消化器系の疾患	7,792 円	4,544 円	3,248 円 (71.5%)	6,704 円	4,544 円	2,160 円 (47.5%)

○令和 2 年度の前期高齢者の疾病分類別 1 人当たり医療費は、医科入院は「循環器系の疾患」（44,793 円）、医科入院外は「新生物」（28,472 円）が最も高い。（55 頁表-52）  
組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	入 院			疾病分類	入 院 外		
	全国土木	組合健保	差（率）		全国土木	組合健保	差（率）
総 数	155,413 円	138,651 円	16,762 円 (12.1%)	総 数	185,402 円	167,284 円	18,118 円 (10.8%)
新生物	26,780 円	41,828 円	△15,048 円 (△36.0%)	消化器系の疾患	21,648 円	9,787 円	11,861 円 (121.2%)
内分泌、栄養及び代謝疾患	16,942 円	2,342 円	14,600 円 (623.4%)	循環器系の疾患	20,793 円	30,191 円	△9,398 円 (△31.1%)
循環器系の疾患	44,793 円	36,249 円	8,544 円 (23.6%)	他に分類されないもの	11,148 円	2,974 円	8,174 円 (274.8%)

○令和 2 年度の前期高齢者の入院医療費の疾病分類別新 3 要素分析をみると、100 人当たり新規入院件数は「消化器系の疾患」（2.33 件）が最も多く、1 入院当たり医療費は「循環器系の疾患」（198.6 万円）が最も高い。（56 頁 図-74）  
各指標において、組合健保との差が大きい上位 3 疾患は次のとおりである。

疾病分類	100 人当たり新規入院件数			疾病分類	平均在院日数		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
新生物	2.01 件	3.75 件	△1.74 件	他に分類されないもの	17 日	9 日	8 日
内分泌、栄養及び代謝疾患	2.10 件	0.38 件	1.72 件	損傷、中毒及びその他の外因の影響	15 日	22 日	△7 日
他に分類されないもの	1.09 件	0.12 件	0.97 件	呼吸器系の疾患	17 日	22 日	△5 日
疾病分類	1 入院当たり医療費			疾病分類	1 日当たり医療費		
	全国土木	組合健保	差		全国土木	組合健保	差
眼及び付属器の疾患	102.1 万円	42.2 万円	59.9 万円	循環器系の疾患	145,016 円	89,617 円	55,399 円
損傷、中毒及びその他の外因の影響	149.3 万円	100.5 万円	48.8 万円	新生物	133,170 円	78,290 円	54,880 円
筋骨格系及び結合組織の疾患	85.8 万円	133.7 万円	△47.9 万円	損傷、中毒及びその他の外因の影響	101,003 円	46,677 円	54,326 円